

# ウズベキスタンの櫻

中山恭子

ウズベキスタン大使館  
自説院議考

KTC中央出版

日本語の学習も大層盛んで、タシケントやサマルカンドの大学で多くの学生が学んでいます。主要な国立大学では日本語部を創設する計画も立てられています。ウズベキスタンの学生が中央アジアの日本語大会で優勝することもよくあり、二(一)一年にモスクワで開かれたC I S (独立国家共同体) 全体の日本語弁論大会では、ウズベキスタンの学生が優勝しました。

ウズベキスタンの学生達の日本語が優れていることは、ウズベキスタンの独立直後から日本語教師を務めていらつしやる菅野怜子先生はじめ日本人の先生方の熱心な指導によるところが大きいことは言うまでもありません。日本語の先生達は、ボランティアとして厳しい生活環境の中で随分と苦労しながらも、学生達をしつかりと惹き付け樂しげに日本語を教えています。

フェルガナ州のリシタン市には「紀子学級」があります。仕事でウズベキスタンと関わったことをきっかけにして、小松製作所に勤務していた大崎重勝・紀子さんご夫妻が、リシタン市の人々の協力のもとに個人でつくった日本語教室です。紀子学級で育った日本語好きのウズベキスタンの子供達が今年も日本に留学しています。紀子学級についてはとても語り尽くせません。映画が一本出来そうです。